



第3章 事業の将来性



3-1 事業の実現に向けて

環の拠点創出事業の実現に向けて、サイクリストや利用客が楽しむことができる施設という、所期の目的が反映できるよう、財源確保も含め、時代のニーズ等に基づき、木津川市をはじめとする地元地域団体が、弾力性を持って、地元地域のために手を取り合って進めていく必要がある。

また一方、運営面では、その継続性を確保するため、運営参加者が楽しみながら、利便性のあるシステムづくりが大切である。

3-2 観光ルートなどの整備による集客に向けて

市内には、茶問屋街と同様に、歴史的なまちなみが残る木津本町地区や加茂船屋地区がある。また、拠点施設周辺や旧山城町北部地域の椿井大塚山古墳や蟹満寺などの観光名所に加えて、浄瑠璃寺や岩船寺など多くの国宝・重要文化財を所有する神社仏閣や石仏の道のある当尾地区、恭仁宮跡や海住山寺の歴史的資源を有する瓶原地区などの観光エリアが数多くあり、これらのエリアと、拠点施設とを結ぶサイクリングコースや散策ルートを設定し、マップの作成を進めていく必要がある。

ただし、利用者の増加とともに、観光スポットの整備の検討及びサイクリングコースの要所には、トイレやバイクスタンドなどの整備の検討が必要になるものとする。

また、市外にも多くのサイクリングコースなどがあり、本拠点にハブ（中継）機能を持たせ、将来的には、上狛南部地域を中心としたサイクリングコースや散策コースができることを期待する。（13・14・15頁 参照資料）

自転車アンケートの調査結果（抜粋）

問. よく行かれる目的地はどこですか。

実施日：平成25年3月9日（土）
調査場所：上津屋橋、アスパアやましろ
調査人数：128人

2人以上の回答があった目的地		1人から回答のあった目的地
嵐山	15人	けいはんなホテル（精華町） けいはんな記念公園（精華町） 当尾（木津川市）、 三国越林道（和束町～伊賀市）、 大正池（井手町）、 くろんど池（交野市・生駒市） 京都市、京都大原、大和郡山市、吉野町、 枚方市、門真市、淀川、藤井寺市、金剛山 天野原、和歌山県 （地名・施設名以外） パン屋、直売所、歴史跡巡り 日帰り圏内どこでも、自然との触れ合い
上津屋橋（流れ橋）	10人	
木津 ※木津川市(1)含む	8人	
八幡市 ※御幸橋(2)含む	4人	
奈良市	4人	
信楽	4人	
和束町	3人	
京田辺市 ※京田辺市運動公園(1)含む	2人	
明日香村	2人	
滋賀県 ※琵琶湖(1)含む	2人	
大阪市	2人	

3-3 事業の将来に向けて

地域活性化・市内外へのアピールとして

本事業を機会とし、それぞれの団体が新しいネットワークづくりをおこない、他の地域振興事業のモデルとなるように充実を図る。

また、本事業が市内の各地域においても展開されることを期待する。

3-4 歴史ある「まちなみ」の形成に向けて

地域住民の力で景観整備につなげる

市内には上粕南部地域のように、伝統的木造建築や歴史的資産等により、地域特有の景観を創り出している地域が市内に点在する。しかし、どの地域においても地域特有のまちなみなどの景観の調和が課題となっている。

良いまちなみを保全し活かしていくためには、地域住民がその価値を見直すことにより、今あるものを残しながら、特色ある景観が形成されていくことを期待する。



【上粕南部のまちなみ】



【旧奈良街道のまちなみ(木津本町)】



【加茂船屋のまちなみ】

市内の観光名所・観光スポットなど



ハブ機能を有する拠点として（市内版）



ハブ機能を有する拠点として（市外・広域版）

